

# データ活用高度人材育成支援プログラム

経営課題を、社内データで解決へ



高度人材育成リスティング事業

## ・ 個別課題に応じた社内データの価値化から実装までの伴走支援

売上拡大、生産性向上、顧客対応の高度化、人材不足への対応。企業の経営課題が多様化する一方で、「社内にデータはあるのに活かしきれていない」「分析やAIを試しても経営・現場の改善につながらない」という声は少なくありません。本プログラムでは、各社の個別課題を起点に、経営層を巻き込みながら、課題整理から社内実装まで徹底的に伴走支援します。

## こんなお悩みはありませんか？

- ❗ 採用を強化したいが、応募や定着につながる打ち手を見つけられない
- ❗ 業務効率を高めたいが、改善すべきポイントが見えにくい
- ❗ 既存顧客に、より高付加価値なサービスを提供したい
- ❗ 顧客対応の質を上げたいが、担当者ごとの差が大きい
- ❗ 売上を伸ばしたいが、どこに注力すべきか判断しきれない
- ❗ 属人化した業務を見直し、再現性のある仕組みにしたい

## なぜ、データ活用は進まないのか

多くの企業でデータ活用が進まない原因は、分析手法やツールの不足ではなく「入口となる課題整理と設計」にあります。

比較項目	従来のアプローチ	本プログラムのアプローチ
出発点	ツールやAIの導入ありき	各社の個別の経営課題
入口の設計	曖昧なまま分析を開始	課題整理と指標・データの設計
実行体制	現場担当者の孤軍奮闘	経営層の参画 + 伴走支援
最終結果	孤立したPoC・不活用ツール	社内実装と高付加価値の創出

## 2026年度 参加企業募集!!

⇒ 支援プロセス・スケジュール・講師紹介・申込案内裏面を参照願います。

# 2026年度進め方・参加のご案内

## 支援プロセス

経営課題をそのまま分析するのではなく、何を指標にするか・どのデータをどう活用するかを整理しながら「社内データで解ける形」に変換していきます。  
※使用するデータや実施方法は、各社の状況に応じて個別に調整します。



## 支援スケジュール

5～6月	キックオフセミナー(6/12)・経営課題把握
6～7月	ヒアリング・課題構造化・データ確認
7月以降	分析設計・モデリング・PoC実施
10月以降	集合研修・実装・定着支援
2月	成果発表

## 対象者

### 経営層

経営課題の解決に直結させたい方

### リーダー

現場での活用を推進する担当者

### 担当者

分析を業務価値に変えたい方

1チーム担当者3名が参加可能  
(経営層、リーダーは適宜ご参加ください。)

※キックオフセミナー、成果発表には経営層の方のご参加をお願いいたします。

## このプログラムで身につく4つの力

### 1. 問題設定力

何を解くべきかを定義する力

### 2. 統合・設計力

人・AI・業務プロセスを組み合わせることで成果を最大化する力

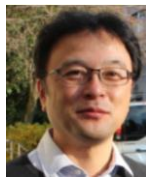
### 3. AI活用設計力

AIに対して適切な指示・文脈を設計する力

### 4. 判断・評価力

AIの出力を評価し、採用・修正・却下を判断する力

## 講師紹介



### 平松 薫 氏

埼玉大学大学院理工学研究科 教授  
専門は人工知能、メディア情報処理、地理情報処理。  
企業における実務経験に基づき、データサイエンスに関する  
技術者および研究者の育成と、研究開発に取り組む



### 小林 竜己 氏

LangCloudテクノロジーズ合同会社 代表  
企業向けAI開発・データ分析支援、DX人材育成に長く  
従事。製造・金融領域のデータ分析を数多く手掛ける。  
特に、自動車セクターのAI・DX化を長く支援。

## 参加申込・詳細はこちら

### ■参加対象者

- 経営者または経営幹部の方
- 実務担当者



申込ページ  
— こちら

### ■参加申込み

- 参加企業数：5社（定員に達し次第募集締切り）
- 募集締切：令和8年5月15日（金）まで
- 参加費：1チーム5万円（税込み）（1チーム3名まで参加可能）
- 研修場所：【集合研修（予定）】まるまるひがしにほん2階  
【伴走支援】参加企業内またはオンライン
- お申込み：下記URLまたは左記QRコードよりお申込みください  
<https://forms.cloud.microsoft/r/QKhgGnahA0>



さいたま市産業創造財団 担当：支援第二課 児玉・竹内

TEL 048-851-6652 Email [shien2@sozo-saitama.or.jp](mailto:shien2@sozo-saitama.or.jp)

協力機関

